

活動1

まじめになる

モルモン1：2，15を読み，「まじめ」という言葉に印を付けるとよいでしょう。（自分の聖典に，「まじめ」には「敬虔な」，「真剣な」，「思慮深い」という意味があることを記録しておくといよいでしょう。）

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924–2015年）の，次の言葉を読んでください：



「わたしたちは教会内で敬虔な人とそうでない人と，様々な人を見てきました。褒むべき人が多いことは確かですが，道を外れている人もいます。わたしたちが深く憂慮するのはそれなりの根拠があるからです。……

敬虔さを失わせることは，まさしくサタンのもくろみなのです。知性と霊性の両方における啓示の伝達経路を妨害することになるからです。」（ボイド・K・パッカー「啓示をもたらす敬虔さ」『聖徒の道』1992年1月号，24）

- 敬虔さと真剣さをもって扱うべきことなのに，時に軽々しく扱われていることにはどのようなものがありますか。
- 救い主はまじめ（敬虔で，真剣で，思慮深い）であることの模範を，どのように示されましたか。

活動2

観察が鋭い

モルモン1：2を読み，「観察が鋭い」という言葉に印を付けるとよいでしょう。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った，次の言葉を読んでください：



「観察が鋭ければ，わたしたちは即座に注意を向けて，従うでしょう。注意を向ける，そして従うという二つの基本要素は，観察が鋭くなるためには不可欠です。預言者モルモンは，この賜物を用いた見事な模範です。」（デビッド・A・ベドナー「観察が鋭い」『リアホナ』2006年12月号，16）

- 素早く気づき，従うために，どのような教えが役に立ったと感じますか。それはなぜですか。
- 主に従うことを先延ばしにしてもかまわないと感じている友達に，あなたならどのようなアドバイスをしますか。
- イエス・キリストはどのように，鋭い観察の模範を示されましたか。